

■ブログの役割■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 157 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

157 目次

1. ブログから：ブログの役割
2. トピックス：5/10 LR 経営会議のご案内
3. 今後の予定：今週・来週以降
4. アクセスポイント：問い合わせ先
5. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：ブログの役割

4月17日の顔面負傷のおかげで4/25まで仕事を休み、その後GWに突入してしまったので、結局5/6までの18日間も時間ができてしまった。僕の人生の中で、こんなに長い休暇は大学の卒業旅行以来のこと。会社が倒産した時でさえ、これほどまとまった時間を「おとなしくしてなさい」などと言われることはなかった。怪我は顔面なので、お見苦しい状態の上に外出や運動は禁物だが、頭も体も以上は無く、むしろやる気満々だ。そこで僕は、「地主の学校」の出版と、「SHO-KEI-KAN 展V」の準備に充てることにしたのだが、結論から言えば、これは大失敗に終わった。原稿はまるで進まず、展示の企画もぐちゃぐちゃで、ついに連休の最終日の今日は、今後の進め方を決めなければならない。

今回思い立った「地主の学校」という言葉は、それを初めて聞いた人が感じることに、僕が伝えたいことが重ならなければいい言葉とは言えない。僕がこの言葉に飛びついたのは、そんなものはこの世に無いからであり、多くの人がそう感じてくれるのではないかと思ったからだ。もちろん僕はすでに新しいことに取り組んでいて、それを知っている人が「地主の学校」をふさわしいと感じて欲しい。だがそれ以上に、僕を知らない人が「地主の学校」と聞いて興味や疑問を持ち、僕に連絡をしてきて欲しい。だとすれば、僕はこの2点に関する確認作業に取り掛かりたい。明日お目にかかる出版社関係の方にこの点を訪ね、10日の運営会議でメンバーたちの意見を聞こう。

「地主の学校」は、日本土地資源協会の活動のキャッチコピー候補でもある。設立当初は「空き家の無い社会を目指して」としていたのを、後に「空き家を生まない社会を目指して」に変更したのは、活動の対象が「空き家」ではなく「社会」であることに気付いたからだ。だが今回「空き家」も「社会」も取りやめて「地主の学校」に変更しようと考えているのは、「空き家」が当協会のすべてを含む概念ではないからだ。僕は昔「IID 世田谷ものづくり学校の校長」を務めたが、「学校」と「校長」という言葉で全ての事業を説明できた。したがって、日本土地資源協会という堅苦しい団体の目的を「地主の学校」というイメージで表現するのも有効だとしても、「地主の学校」は団体を包含するべきであり、協会の活動のうち「地主の学校」に含まれないものは除外すべきだろう。

当初、事業イメージとして使い始めた「地主の学校」という言葉は、やがて実際の学校として期待されるようになるだろう。今回の展示企画において、この点をどう説明するか悩んでしまった。今僕が育てようとしているのは、場所を活用する新しいビジネスを生み出し、それを運営する仲間を新しい家族にして、自ら地主として地元
の地主と連携していく人たちだ。明治初期、全国には7万を超す町があったのだが、現在1,700程度の市町村に
統合されている。当時はエネルギーや食糧は全て自給自足な上、政府からの交付金や補助金は皆無ですべてが自
給自足で生きていた。ところが現在はエネルギーや食糧もふんだんで豊かな社会が実現したが、ほとんどの地域
が補助金付で自給自足は程遠い。失われた「昔の良い面」を応用して未来を創る人たちを、すでに古びて滅びか
けた「地主」と名付けることで、温故知新をイメージしたいと僕は思う。

こんな感じで、たった一つの言葉を巡り、様々な疑問や課題が次から次へと湧き出して、僕の頭を駆け巡る。い
つもなら、日々忙しいので時間を区切りてきばきと結論を出すのだが、今回何と18日間も時間ができたので、
すっかり迷走してしまったようだ。だが、失敗だけでなく成功にも疑問を持ち、その過去を検証する「温故知新」
という発想はこの迷走から生まれたもの。こうして立ち止まり自分を客観視することで、迷走の無駄と価値の双
方を確認できたのは、僕にとって心地よい。だがこの客観視は、日常作業の範囲外であるブログだからできるこ
と。毎週ブログを書く僕が先週さぼってしまったのは、まさに作業に埋没し迷走していた証拠だろう。僕にとっ
てのブログの役割は、毎週発行というエンジンと、自分説明というハンドルなのかもしれない。

<http://nanoni.co.jp/20180506/>

.....

2. トピックス：5/10 LR 経営会議のご案内

今年はいよいよ LR（日本土地資源協会）は笑恵館から飛び出して、社会全体に発信できる活動へ転換したいと
思います。

新規入会の受付を再開し、先月大海さんが入会しました。

再来週開催予定の SHO-KEI-KAN 展も、これまでの内容を振り返ると

2014 I. 笑恵館開業の記録

2015 II. LR の公益法人化を目指して

2016 III. 空き家を生まない社会へ

2017 IV. 笑恵館クラブ・認定 NPO 法人を目指して

2018 V. 地主の学校へ（次回）

と、毎年新たなチャレンジを繰り返してきたことが判りますが、残念ながら僕の負傷もあり、次回の準備が間に
合いませんでした。

10 日の LR 経営会議にて、上記を含め今後の方針をご説明したいと思いますので、よろしければご参加くださ
い。

.....

3. 今後の予定：今週・来週以降

- 凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。
◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。
●同行可能：僕の訪問先にお連れします。
★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 5/07 ○終日笑恵館で面談可
(火) 5/08 ○なのに作業日 (青葉台)
(水) 5/09 ○なのに作業日 (青葉台)
(木) 5/10 ○午後から笑恵館で面談可
13-15 時 そふと電鉄打合せ
15-17 時 日本土地資源協会経営会議
17-19 時 笑恵館クラブ運営会議
(金) 5/11 ○なのに作業日 (青葉台)
19-21 時 カプラー起業交流会 (三茶)
(土) 5/12 ○終日笑恵館で面談
12-18 時 地主の学校を語る会
(日) 5/13 ○休業日 (青葉台)

■その後のイベント

- 5/16 ●三宿 R420 商店会年次総会 (IID)
5/17 ★なるほどデイ・持ち寄り食事会 (笑恵館)
5/24 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
5/27 ★名栗の森オーナーシップクラブ例会 (飯能)

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで随時公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>